



7月2日 全国発売

78年の眠りから目覚めた瑞々しい筆致 野口富士男の幻の長編小説『巷(ちまた)の空』発売

新書判 仮フランス装 重さ324g 472ページ 価格 2,530円税込

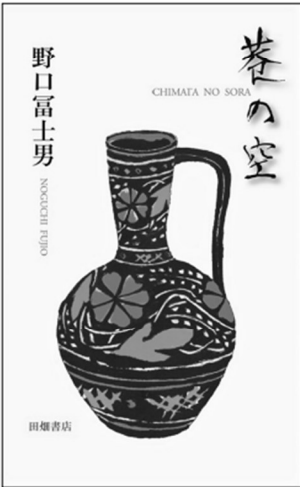
戦争中〈不要不急〉として紙が配給されずにお蔵入り。戦後、ゲラが1/3まで出たところで出版社が倒産してまたお蔵入り。数々の因縁があり、78年の時を経てこの7月、野口富士男の新刊長編小説として刊行されます！

明治も終りに近い頃、江戸川橋の鰻屋に生まれながら、家業を嫌い靴職人となった主人公・伊之吉。独立して事業主となり、折り重なる浮き沈みに揉まれながら生き抜いて行く——関東大震災前の“古きよき東京”を緻密に再現しながら、市井に生きる日本人の姿を丹念な心理描写をもって描く幻の傑作青春小説が、いま蘇る！

野口富士男関連 近刊・新刊

3月11日 小学館P+D BOOK「なぎの葉考／しあわせ」

6月23日 中公文庫「海軍日記-最下級兵の記録」



6月3日 全国発売

八木義徳 野口富士男 往復書簡集

〈切磋琢磨〉という言葉がこれほどに相応しい関係があるだろうか—同じ時代を生き、ともに「私小説」を極めようと志したふたりの文士が、四十年以上にもわたって互いの作品を評し合い、生活のこもごもを語り合った奇跡！



詩と文学における伝説的出版社・小沢書店の貴重な全刊行目録他、未収録原稿多数収録

6月15日 全国発売

『Editorship Vol. 6 (特別号) 追悼・長谷川郁夫』

昨年緊急事態宣言下5月1日に亡くなった、文芸編集者・批評家で大阪芸大教授長谷川郁夫。小沢書店を興し、『吉田健一』『編集者 夏目漱石』など評伝の大著を残した。在りし日の姿を偲び、その大きな奇跡と、小沢書店とは何だったのかを探ります。

【追悼エッセイ】吉増剛造／中沢けい／高橋睦郎／角田光代／酒井忠康／窪島誠一郎／千葉俊二 他【単行本未収録原稿】対談「魯庵から通じるいくつもの道」[×山口昌男 司会＝坪内佑三]「内田魯庵論」(全10回) 他



日販・トーハン・楽天・八木書店・一冊！取引所・弊社直接にてご注文承ります

	書店番線印	冊数	ご担当者様:
注文書		冊	7月2日 全国発売 野口富士男 著 「巷の空」 新書判・仮フランス装 2,530円税込 ISBN 978-4-8038-0385-3
		冊	平井一麥・土合弘光 ほか 編 八木義徳 野口富士男 往復書簡集 A5判・上製 6,600円税込 ISBN 978-4-8038-0383-9
	FAX 03-3261-2263	冊	日本編集者学会 編 Editorship (エディターシップ) Vol. 6 B5判・並製 1,980円税込 ISBN 978-4-8038-0384-6